

## 平成29年度第1回文化財修復検討部会での意見と対応等一覧表

No.	提案者	意見	対応	資料番号
報告事項（1） 前回部会での意見と対応策について				
1	伊東委員	石垣の修復の重ね図について凡例を修正するべき	今回資料訂正	資料4
報告事項（2） 熊本城復旧基本計画策定委員会について				
2		特になし	-	
報告事項（3） 天守閣復旧整備事業について ・ 天守復興部会について（バリアフリー化・展示等）				
3	千田委員	附櫓について石垣をどうするか、展示施設の入り口をどうするかを、両面で元の姿に戻すのか考えるべき	附櫓部分も災害復旧として地震前の姿に戻す予定。部分解体に伴い、遺構確認調査を実施する。	
報告事項（4） 天守閣復旧整備事業について ・ 建築構造の考え方について				
4		特になし	-	
検討事項（1） 天守閣復旧整備事業について ・ 石垣修復（解体・復旧）方法について				
5	北野委員	段彩図について傾斜角の分布図なども作成するべき	今回資料訂正	資料4 資料11
6	田中委員	外側石垣の残し方を検討して、解体範囲の線引きを工夫すること	今回資料訂正	資料4 資料11
7	宮武委員	「割れ」「ヒビ」の情報を入れ解体範囲を決めるべき	今回資料訂正	資料4 資料11
8	田中委員	クラック等の石材補修について、いままでいくつかのお城で事例があるので、その成果を踏まえて今後検討してもらいたい	焼損調査実施済。調査結果を踏まえ修復予定。	
9	和田委員	江戸時代の石垣を壊さなくていいよう、施工方法をもっと工夫して欲しい	天守穴蔵内石垣の解体範囲は、外側（江戸時代）石垣を解体しないですむ範囲にとどめるように検討。	
検討事項（2） 天守閣復旧整備事業について ・ 石垣構造解析について				
10	和田委員	構造解析のケースについて、もっと様々な案を検討するべき	検討中	
検討事項（3） 石垣及び建造物の復旧手法について				
11	千田委員	飯田丸五階櫓の解体が必要な理由、技術的な問題点等について資料を作成するべき	今回資料により説明	資料10
12	平井委員	飯田丸五階櫓下部の石垣養生の方法を検討すべき	今回資料により説明	資料10
総括 石垣及び建造物の復旧手法について				
13	田中委員	まずなぜ壊れたかという原因を究明するために、石材、地形、石垣勾配、積み方、間詰めなどの条件について、細部の調査を詰めていく必要がある	原因究明を目指して調査を進め、適宜文化財修復検討部会に諮りながら、丁寧に復旧を進めていく。	